

初音 玲  
HATSUNE, Akira

# スキルが生きる Visual Basic .NET

## .NETプログラミング環境のデファクトスタンダード

### Technology Tools

- Visual Basic .NET
- Visual C# .NET
- SQL Server 2000
- Oracle 9i
- Access 2002
- ASP.NET
- Internet Information Services
- Other:

### Level



### Samples

・この記事で取り上げたソースコードおよびサンプルプログラムは、付録CD-ROMの¥DOTNET¥FO1ディレクトリに収録しています。

- ¥0311VB01  
VB.NETフォームサンプル
- ¥0311VB02  
VB.NETモジュールサンプル
- ¥0311VB03  
VB.NET複数プロジェクトサンプル
- ¥0311VB04  
VB.NETライブラリサンプル

### はじめに

“システム開発で.NETを選択する”という決定を行なう要因のひとつとして、既存のWindows開発環境と比較したときの.NET Frameworkの優位性だけではなく、「開発言語の選択の自由度」も挙げられるのではないだろうか。たとえば、Windows開発におけるデファクトとも言える“Visual Basic”の.NET開発言語版であるVisual Basic .NET (以下VB.NET)。このVB.NETの存在も.NETがシステム開発に採用されるかどうかを左右する要因のひとつと考えられる。

### Visual Basicからみた VB.NET

VBとVB.NETでは、どこがどう違うのだろうか。

極めて簡単に言ってしまうと、図1のように「実行に必要なランタイムが異なっている」という点に尽きるだろう。この.NET Frameworkというランタイム

ムルーチンがVBの専用品であったとすれば、もしかしたら、VBとVB.NETの互換性はもっと高かったかもしれない。しかし、.NET Frameworkは、.NETの中核となるランタイム（クラスライブラリと呼ぶ）であり、VBだけを意識したものではないし、Windowsアプリケーションだけを意識したものではない。

そのため、VB.NETの基本的な実装は、「クラスライブラリ」という考え方に基づいた形式に変更されており、より「クラス」という考え方が浸透している。VBとは異なるところがある。その基本的な文法をみても、VBらしさが随所にみられ、「VBに似た別言語」という姿が見えてくるだろう。

図1：VBとVB.NET

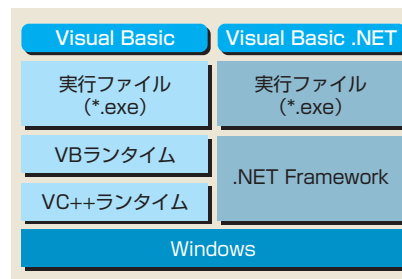


図2：スタートページ



## WindowsアプリケーションをVB.NETで作成する

論より証拠であるので、早速VB.NETでWindowsアプリケーションプログラムを作ってみよう。

### MDEの起動

Windowsの [スタート] メニューからメニューをたどり、Visual Studio .NET 2003を起動すると、「Microsoft Development Environment [デザイン]」画面が立ち上がり、色々なウィンドウと共に図2の「スタートページ」が表示される。

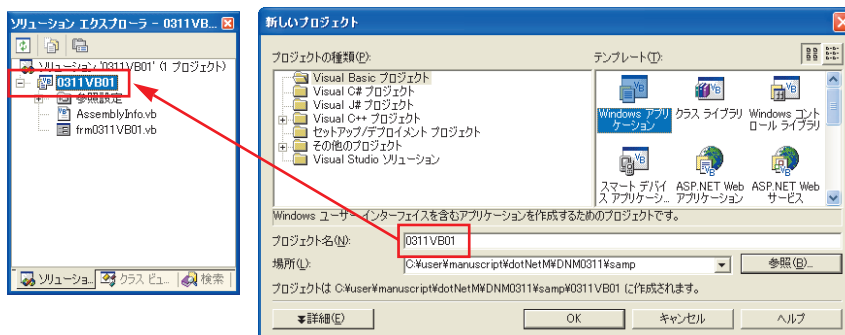
### 新しいプロジェクト

新しくプログラムを作り始めるときは、このスタートページで [新しいプロジェクト] ボタンをクリックして、「新しいプロジェクト」ダイアログを表示することが第一歩となる。

「新しいプロジェクト」ダイアログでは、プログラムの種類、作成する場所とその名前を同時に指定する (図3)。

今回の例では、Windowsアプリケー

図3：ソリューションとプロジェクト



新しいプロジェクトを指定すると、同名のソリューションが作成され、そこに、指定したプロジェクトが新規作成される。プロジェクトはコンパイルして生成される実行ファイル (EXEやDLL) 単位であり、ソリューションとは、複数の実行ファイルでひとつの機能を実現する単位。通常1ソリューション=1プロジェクトの構成で事足りることが多い。

ソリューションを「0311VB01」という名前で作成してみる。

### ソリューションとプロジェクト

ソリューションエクスプローラには、プロジェクトの上位として「ソリューション」というものが存在している。これは、Visual Basic 6.0のときの「プロジェクトグループ」に相当するもので、複数の実行ファイルのコードを一度にみるときになどに便利な機能だ。ソリューションを使った例は最後に紹介するとして、現時点では (また大抵の場合は) 「ソリューション=プロジェクト」と考えておいても問題はないので、今は、頭からソリューションに関する興味や疑問点は外してしまおう。

### ファイル名の変更

Windowsアプリケーションを選択して、新しいプロジェクトの作成を指定した場合、プロジェクトの中には、

- AssemblyInfo.vb

- Form1.vb

という2つのファイルが含まれた形でプロジェクトが作成される。「Form1.vb」というフォーム名は、「frm0311VB01.vb」に変更して、0311VB01プロジェクトのフォームであることがわかるようにするのが良いだろう。ファイル名の変更は、ソリューションエクスプローラで「Form1.vb」を右クリックし、ショートカットメニューから [名前の変更] を選択して行なう。

なお、実際のプロジェクトでは、以下のような命名規約を取り決めておくのが良いだろう。

#### <命名規約の例>

プロジェクト名：SEKV1000  
 主画面のフォーム：frmSEKV1000.vb  
 サブ画面のフォーム：  
 frmSEKV1100.vb、frmSEKV1200.vb…

### フォームへのコントロール配置

フォームへのコントロールの配置は実に簡単だ。